

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月10日

計画の名称	水と緑のプロムナードを形成する安全・安心の公園づくり											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和04年度 (4年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	西宮市											
計画の目標	西宮市では、都市公園等の緑のネットワークにより、海・川・山を繋ぎ、文化・自然・防災の拠点を包括する、総延長約10kmの遊歩道「水と緑のプロムナード」の形成を計画している。 「水と緑のプロムナード」に含まれ、西宮市地域防災計画の広域避難地に指定されている西宮浜総合公園を整備することにより、都市環境と防災機能の向上を図る緑のネットワークを強化し、緑豊かな安全・安心の公園づくりを推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	954	A	954	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	「水と緑のプロムナード」を構成する都市公園の目標供用面積の整備達成率を94%から100%に向上させる。 「水と緑のプロムナード」を構成する都市公園の目標供用面積の整備達成率を測定する。 【整備達成率】 = 【目標年次における整備済みの都市公園面積(m ²)】 / 【整備を目標とする都市公園面積(m ²)】 × 100(%)	94%	96%	100%
2	西宮浜総合公園における避難可能者数を25千人から46千人に増加させる。 西宮浜総合公園における避難可能者数を測定する。 【避難可能者数】 = 【目標年次における避難可能面積(m ²)】 / 【1人当たりの必要避難面積(m ² /人)】	25千人	33千人	46千人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
西宮市において目標の達成状況やその要因の確認を行い事後評価を実施	令和5年11月
	公表の方法
	ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「水と緑のプロムナード」を構成する西宮浜総合公園の供用面積が5.05haから10.21haに増加したことにより、海辺で憩い、スポーツ等のレクリエーションを楽しめるオープンスペースを創出することが出来た。 ・西宮浜総合公園における広場等の整備により、避難可能者数が2.7万人から4.6万人に増加し、広域避難地としての防災機能が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	整備達成率		
	最終目標値	100%	着実に公園整備を行い、目標値を達成することができた。
	最終実績値	100%	
避難可能者数			
2	最終目標値	46千人	着実に公園整備を行い、目標値を達成することができた。
	最終実績値	46千人	